

第48号

発行日：令和5年1月15日

発行元：介護老人保健施設 槇の里
〒953-0041

新潟県新潟市西蒲区巻甲4363番地

(TEL) 0256-72-0331

(FAX) 0256-72-0330

<http://www.jojinkai.com/maki/>

真



「三方良し」の施設をめざして

介護老人保健施設

槇の里

施設長

齋藤 弘行

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年の春以降は猛暑が来襲、豪雨も続き激しい気候変動に見舞われました。一方、七月には新型コロナウイルス感染の急拡大も生じて現在も第八波の真っ只中、ウィズコロナからの完全脱却は不可能なようです。それ以前に比較して軽症者は多いものの、当施設のような高齢者、体力や認知機能の低下した方が多く入所されている施設では、クラスターの発生や濃厚接触者の存在により甚大な影響を被り、サービスタワーの発生や濃厚接触者の存在により甚かに面会制限やリハビリテーションの自粛によって、利用者の身体的・精神的活動性やご家族の満足度の低下は否めませんが、当施設としては感染防止との折り合いに苦慮しているところです。リモート面会のほか、紅葉狩りなどの外出行事、感染対策を考慮した各種施設内行事など、昨年各職種が創意工夫の上でできる限りの対応を行ってくれました。人生には三つの坂があるとよく言われます。「上り坂」「下り坂」そして「まさか」です。当施設のご利用者の多くは人生の下り坂の方が多いのかもしれませんが、そこにぜひ（良い意味での）「まさか」を感じていただければ、今後も努力、創意工夫を重ねていきたいと考えております。

さて、表題の「三方良し」ですが、これは「買い手良し」「売り手良し」「世間良し」の三つを指し、買い手と売り手とともに満足し社会貢献できるのがよい商売であるという近江商人の心得を示したものだそうです。我々の施設に当てはめてみると、「ご利用者やそのご家族の願いや要望の実現」「職員が希望をもって働きやすい職場」そして「地域社会への貢献」ということにでもなるのでしょうか。

そのような施設の実現を目標に、今後も職員一同励んでいきたいと考えております。本年も変わらぬご支援、ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。

紅葉ドライブ

11月上旬、燕市の国上山へドライブに行きました。コロナ禍以降、外出行事は中止となっていたため、「柿がなってるね〜」「こころ辺はうちの近くだ」と道中から喜ばれている方が多くみられました。あいにくの雨で中止になってしまった日もありましたが、晴れの日も気温も高く、色づき始めの紅葉を見ることができました🍁

また、小学生が校外学習に来ている日があり、「大河津分水の通水 100 周年の歴史」についての発表を聞かせてもらいました。

利用者様だけでなく、私たち職員も思わず聞き入ってしまう上手な発表でした🌟



クリスマス会

12/28 クリスマス会と忘年会を合わせて行いました。

恒例となった「皇室御写真集カレンダー」のくじ引きを行い、当たった方は満面の笑みで喜ばれていました。

職員の出し物はハンドベルで「きよしこの夜」を演奏しました。

つたない演奏でしたが、演奏が終わると皆様から温かい拍手をいただきました。

● 最後は全員で「お正月の歌」を歌い、2022年を締めくくりました🐱



2023年も皆様が穏やかに過ごせるよう、職員一同精進してまいります🐰 よろしくお願ひ致します。



入所(退所)前後訪問



当施設では、在宅復帰される予定の利用者様に対し、ご本人やご家族の意向を踏まえたうえで実際にご自宅へ伺う入所(退所)前後訪問を実施しています。

また、退所先がご自宅でない場合にも、提供するリハビリや施設生活へ役立つために、訪問をさせていただくこともあります。

訪問では、リハビリスタッフや在宅生活に関わる職員がご自宅へ伺い、生活環境を確認して福祉用具や家屋改修の提案、利用者様の動作確認等をさせていただきます。上記の家屋評価により、利用者様それぞれに合わせた在宅生活に近いリハビリの提供が可能となり、在宅復帰支援につなげています。

